

八尾市総合計画審議会 第3回総合戦略部会
議事録

日 時：令和6年7月25日（木）18時30分～20時20分

場 所：八尾市役所本館 6階 研修室

出席者：和田部会長（Web参加）、和泉副部会長、黒木委員、松本委員、吉田委員、木村委員、上木委員、川野委員、高島委員、野村委員、日埜委員（Web参加）
事務局（関係課含む）

欠席者：久保委員、谷水委員、古河委員、坂口委員

1. 開会

事務局

ただいまより「八尾市総合計画審議会 第3回総合戦略部会」を開催いたします。

本日の司会を務めさせていただきます、政策企画部次長兼政策推進課長の柏原でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は夜間の会議にもかかわらずご参加いただき、まことにありがとうございます。

会議につきましては、対面とWebの併用で開催してまいります。

それでは、会議開始にあたりまして、まず資料の確認をさせていただきます。

事前に送付させていただいております資料が、

・次 第

・資料1：八尾市総合計画審議会 総合戦略部会 委員名簿

・資料2：令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る効果検証シート
デジタルを活用した「価値と人材のサイクルモデル」形成事業

・資料3：令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る効果検証シート
2025年大阪・関西万博を契機とした「観光コンテンツ整備」事業

・資料4：令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る効果検証シート
公開型GISを活用した行政情報発信による市民サービス向上

・資料5：企業版ふるさと納税

・資料6：第2期八尾市総合戦略における指標・KPI数値目標一覧

・資料7：第2期八尾市総合戦略 後期戦略（案）

・参考資料2：八尾市第6次総合計画 後期基本計画施策シート

となっております。

また、本日、机上に配布させていただいております資料が、

・座席表

・【参考資料1】 デジタルを活用した「価値と人材のサイクルモデル」形成事業
となっております。

資料はすべてお揃いでしょうか。不足している資料があれば挙手くださいますよう、お願いいたします。

また、本日の会議の公開についてですが、昨年度に引き続き、会議、会議資料、会議録について公開とし、また会議録作成事務の都合上、録音させていただきたいと考えておりますので、ご了承いただきますよう、よろしく願いいたします。

次に、団体内での人事異動等により、今年度より新たに本審議会の委員となりました方々のご紹介をさせていただきます。資料1の委員名簿を併せてご覧ください。

株式会社 日本政策金融公庫 東大阪支店の伊藤（いとう）委員のご後任として、新たに委員となりました、木村（きむら）委員でございます。

次に、株式会社 ジェイコムウエストかわち局の鈴木（すずき）委員のご後任として、新たに委員となりました、谷水（たにみず）委員におかれましては、本日ご欠席です。

次に、市民委員の高須（たかす）委員が諸事情により委員を辞退され、新たに委員となりました、日埜（ひの）委員でございます。

本日Webでご参加いただいております。

なお、委員の委嘱状につきましては、机上配布及びWeb出席の日埜委員と欠席の谷水委員につきましては後日郵送させていただきます。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は委員15名のうち、10名（会議開始時点）の委員にご参加いただいております、本審議会の開催要件である委員の過半数の出席を満たしており、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、ここからは、進行を和田部会長にお願いしたいと思います。

和田部会長、よろしくお願い致します。

2. 令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業等の効果検証について

和田部会長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。議事2. 令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業等の効果検証について、事務局からご説明をお願いします。

（資料2から5まで事務局から一括して説明）

和田部会長

ただいま、令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業等の効果検証について、4件一括で事務局より説明がありました。

それでは、進捗管理・効果検証に移りたいと思います。指標の実績値や具体的な取組に関して評価できる点や改善すべき点、また、事務局の説明において不明な点がありましたら単

に質問でも構いませんので、ご意見あれば挙手をお願いいたします。

和泉副部長

資料3について、実際に作成されたコンテンツを見て、これまでにない取組をされており、今後に期待が持てると感じました。

KPIとして「映画等に参加したエキストラ数」を設定していますが、映画によって必要なエキストラ数は変動すると思われるので、この数値自体は把握されたほうがよいと思いますが、撮影された映画の本数と合わせて評価することが必要だと思いました。

事務局

ご指摘の通り、エキストラ数は映画撮影の内容によって変動するところではありますが、本市では映画撮影を通じて八尾市の魅力を発信するために「映画のまち・やお」事業を推進しており、ロケ地としてだけでなく、市民の方々にも映画撮影に参加していただくことで八尾市の良さを実感してもらいたいという思いで、エキストラ数を指標設定しております。

映画の撮影本数も必要な数値であると認識しており、事務事業としての「映画のまち・やお」推進事業」において指標設定しております。

和田部長

ありがとうございました。和泉副部長のご指摘の通り、エキストラ数は撮影内容に左右されるもので、その数値の増減が事業の良し悪しを決めるものではないと思いますので、事務局のご説明の通り、市民の方にいかに影響があったかという観点で効果を測るほうがよいと思います。

和泉副部長

資料4について、「都市計画業務における窓口対応件数」を指標の一つとして設定されていますが、窓口でないで解決できない問い合わせ等もあるかと思しますので、必ずしも公開型GISの効果と結び付けることはないのではと思います。最終目標値が「2,000人」と設定されていますが、この目標値をどこまで下げるべきなのか、公開型GISにより減少できる窓口対応と窓口でしか対応できない件数の両方を考慮して定めたほうがよいと感じました。

事務局

公開型GIS（やおデジマップ）により、窓口に来なくても情報が取得できる環境が整備されています。やおデジマップの認知度が向上すればするほど、来庁者の減少につながると考えており、現在は認知度向上に向けて取り組んでいるところです。

やおデジマップには都市計画情報以外にもさまざまな情報が掲載されており、都市計画情報以外の窓口対応件数を想定しての数値となっております。

和泉副部長

わかりました。

公開型 GIS の認知度向上に向けてどういったことに取り組んでいるのでしょうか。

事務局

市政だよりへの掲載や、包括連携協定を締結している大阪シティ信用金庫との連携会議の中でやおデジマップのご説明をさせていただきました。

担当課としては、やおデジマップを利用していただければ、窓口に来ずとも必要となるほとんどの情報が入手できると思っています。

和田部長

他にご意見等ある方、いかがでしょうか。

上木委員

資料5について、令和5年度寄付実績が13件、約2,500万円となっていますが、他の自治体と比較してどうなのでしょう。また、令和4年度から寄付金額が倍増しており、対象事業数も令和5年度は10事業あった中で、令和6年度は8事業と減少しているのはなぜでしょうか。

事務局

他市との比較については、本日資料を持ち合わせていないため、この場でお答えすることができません。

対象事業数について、各年度に市として重点的に取り組むべき事業の中から、寄付がいただきやすいと思われる事業をピックアップしており、寄付件数を増やすために対象事業をできるだけ多く設定するというのではないと聞いております。

上木委員

ありがとうございました。個人的には令和5年度の約2,500万円という実績は非常に多くて驚いています。

和田部長

ほか、いかがでしょうか。

高島委員

資料3について、せっかく作成したコンテンツが外国人の目に留まらないと八尾市への

来訪者は増加しないと思いますが、外国人に対してどのようなプロモーションを行っているのでしょうか。

事務局

昨年度コンテンツを整備し、今年度はその周知に向けて取り組んでいこうとしているところです。PRに向けた事業者を選定し、現在打ち合わせを進めています。今年度はこのコンテンツの周知とモニターツアーを実施したいと考えています。

また、多言語対応ではベトナム語にも対応しています。八尾市内にはベトナム人の方が多く住んでおり、本国との情報のやり取りが多いと聞いていますので、八尾市在住のベトナム人の方から本国に伝わっていくのではないかと考えています。

高島委員

難波駅には外国人が非常に多いです。関空から難波に向かうお客さんに南海沿線の自治体に立ち寄ってもらう取組をされていると聞きました。八尾市でも例えば近鉄と連携して何かできればおもしろいと思いました。

事務局

近鉄とは協力してイベントの実施等を行っていますので、そういった取組も検討していきたいと思います。

和田部会長

貴重なご指摘ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

日埜委員

参考資料1について、裏面に近鉄八尾駅西口に商品が展示されているとのことですが、私自身は西口を利用することは多いですが、八尾市外から来る人は中央口を利用する人が多く、目にもとまりやすいと思います。展示場所が中央ではなく西口であるのは何か理由があるのでしょうか

事務局

近鉄との契約に基づいて展示を行っていますが、展示場所を八尾市側が指定できるようにはなっておりません。

ご指摘の通り、中央口の方が通行量が多く人目につきやすいと思われませんが、今後は西口の通行量が増えるような仕掛けの展開を検討していきたいと考えています。

日埜委員

撮影ブースも西口にあったと思うので、ホームページや SNS で周知されれば西口の利用
者も増えるのではないかと思います。

事務局

情報発信の強化にも努めていきたいと思います。

和田部会長

通行量の多いところに展示する方が人目につきやすいと思いますが、その人流を変える
ような仕掛けを考えていただきたいと思います。

野村委員

先ほど外国人向けにどのように PR を行っていくべきかというお話がありました。令和 5
年 10 月から令和 6 年 6 月の間で、弊社施設に体験に来られたお客様が日本人を含めて八尾
が 3,353 人、堺が 3,415 人、福岡が 2,661 人の合計 9,429 人で、そのうち外国人は八尾が 60
人、堺が 68 人、福岡が 280 人となっています。体験に来られるきっかけとして、ゲームや
外国人向けの SNS 発信などがあります。

例えば SNS 上の友達が一般人とは思えないほど多いベトナム人の方もいます。誰に訴え
ていくのかという視点が重要だと思います。

事務局

外国人向けの情報発信について、行政としてもあまり得意でない分野ではありますが、ど
のような情報発信をすれば外国人に伝わりやすいのか、エッジの効いた情報発信を委託先
事業者と検討していきたいと思います。

和田部会長

コンテンツが 7 か国の言語に対応しているのは良いかと思いますが、そこにたどり着く
までのきっかけを作ることができればさらに良いものになると思います。

3. 第 2 期八尾市総合戦略 前期戦略の効果検証について

和田部会長

それでは、3. 第 2 期八尾市総合戦略 前期戦略 の効果検証について、事務局、ご説明
をお願いします。

(資料 6 説明)

和田部会長

ただいま、事務局より説明がありました。

それでは、進捗管理・効果検証に移りたいと思います。指標の実績値や具体的な取組に関して評価できる点や改善すべき点、また、事務局の説明において不明な点がありましたら単に質問でも構いませんので、ご意見あれば挙手をお願いいたします。

黒木委員

基本目標5の「立地制度活用による工場立地件数」の指標について、事業用地が枯渇しているとの記載がありますが、まさにその通りだと思いますし、市の努力ではどうしようもない部分ですので、これを目標として掲げるのはどうかと感じます。後期戦略では別の指標に組み替えることを検討してみてはどうでしょうか。

事務局

事業用地の確保については、市として重点的に取り組むべき課題であると認識しています。指標は、立地件数だけでなく、立地による従業員数の増加を測れるような指標を検討しているところです。

黒木委員

そういった指標の方がより現実的で効果を適切に測ることができると思いますので、引き続きご検討をお願いします

和田部会長

ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

木村委員

基本目標4の「外国人相談窓口における相談件数」について、分析に記載されている通り外国人の数が増えれば相談件数も増えるのだろうということはわかりますが、例えば窓口が相談しやすくなったので増加したといったような分析はされているのでしょうか。

事務局

本市では外国人相談窓口を複数設けており、生涯学習センターの建物内に設置している窓口については数年前に整備されたところです。また、桂人権コミュニティセンターと安中人権コミュニティセンターにも相談窓口を設けており、市内各所で相談を受け付ける体制を整備してきたことで、相談件数の増加につながったと考えております。

吉田委員

基本目標5の「八尾市立中小企業サポートセンター相談件数」について、令和元年度から

実績値が横ばい、もしくは減少傾向にあります。対面での相談以外にオンライン相談も対応されているのでしょうか。

事務局

対面に加えてオンライン相談も対応しております。特に令和3年度はコロナ禍でさまざまな交付金や補助金制度が設けられたことにより、相談件数が多かったのだろうと分析しています。

和田部会長

非常に興味深いご指摘でした。コロナ禍であったにもかかわらず、それほど相談件数に増減がないので、目標値達成に向けて相談件数を増加させるような取組を期待しています。ほか、いかがでしょうか。

和泉副部会長

特に事務局に返答を求めるものではありませんが、基本目標3の「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」について、これを尋ねること自体は問題ないと思いますが、総合戦略のような行政計画の基本目標に位置づけられるような仰々しい取り扱いをすべきなのかどうか疑問に思います。夢や目標を持っていないからだめだということでもないと思いますので、どんどん増加させていくような指標なのかも疑問です。

野村委員

基本目標3の「学校に行くのは楽しい」と答えた児童・生徒の割合」について、以前にも審議会で申し上げたことがあります。学校に行くのが楽しくないといけなれないように配慮してほしいと思います。指標として設定することについてしっかりとご検討いただきたいと思います。

和田部会長

ありがとうございます。以前にも和泉副部会長と野村委員から同様のご意見をいただいていた。事務局においてはこれらの意見を踏まえていただくようお願いします。

事務局

ご指摘の通り、多様な考え方があって良いと思います。指標設定についてはご意見を踏まえて検討しますが、子どもには学校以外にも家庭や地域等、さまざまな居場所があると思いますので、それぞれの子どもの価値観が尊重されながら成長できるということを念頭に置きながら、適切な指標を検討したいと思います。

和田部会長

それでは、4. 第2期八尾市総合戦略 後期戦略（案）について、事務局、ご説明をお願いします。

（資料7説明）

和田部会長

ただいま、事務局より説明がありました。

事務局の説明や後期戦略（案）に対して、ご意見やご質問等あれば挙手をお願いいたします。

川野委員

基本目標5について、後期戦略でも基本的には前期のKPIを引き継ぐということですが、コロナ禍以降、中小企業に対する国の交付金等も廃止されており、廃業する事業者が増加しています。廃業理由として倒産やM&A、物価高騰の影響等があると聞いています。「中小企業サポートセンター相談件数」はもちろん増やしていく必要がありますが、市内事業所数や創業者数を増加させるための施策を検討いただきたいと思います。

商工会議所の中小企業支援策としても、従来とは全く異なる支援策を検討しているところですが、経営改善が重要であり、新製品や新技術の開発の支援を推進するような策も検討していただきたいと思います。

和田部会長

貴重なご意見ありがとうございます。コロナ禍以降の事業承継や経営の課題は切実であり、前期戦略と後期戦略では大きく環境が変わっています。

今のご意見に対して事務局から回答をお願いします。

事務局

「中小企業サポートセンター相談件数」について、相談件数自体はなかなか伸びていないところですが、新たに相談を受け付けた新規企業数は増加している状況であり、相談を待つのではなく、こちらから積極的に困りごとを聞き取りに行くような体制整備を行っているところですが、

支援策については、商工会議所や金融機関と連携して創業者数を増加させる取組を行っており、より支援を充実させられるよう取り組んでいきます。

川野委員

創業者数の増加を測る指標があってもいいと思いました。

総合戦略への位置づけが難しい場合でも、行政として数値を測る仕組みを考えてもらいたいと思います。

和田部会長

事業者側の観点から貴重なご意見が出されましたが、労働者側からの観点で松本委員は何かご意見がありますでしょうか。

松本委員

労働者数の減少傾向が続いており、人手不足による廃業が昨年度比で2倍ほど増加し、管内の事業所数もかなり減少しています。そのような状況の中では、指標として現実的と思われるのは事業継承数かと思います。M&Aによる事業継承もある中で、単純な事業所数の増加をめざすとなると、行政としては非常に厳しいのではないかと思います。

リーマンショック以降、有効求人倍率は厳しい状況が続いていましたが、5年ほどで回復しました。近年では減り続けている状況です。

人手不足という現状の中でどういったことができるのか、事業継承数を測定することは可能と思われるので、廃業する前に必ず相談できる窓口を仕組みとして作ることができればいいのではと思います。

和田部会長

ありがとうございます。近年の社会経済情勢では、創業支援によって事業者数を増加させることは可能ですが、既存の事業者が減少する中身をしっかりと検証しないといけません。有効的なM&Aによって、事業者数は減少しても経営が強化されることもあるでしょうし、良い形で八尾市に事業者が残れるような仕組みを作るという重要な指摘でした。

事務局におかれては、廃業の中身の検証とそれをサポートできる環境整備を検討していただきたいと思います。

事務局

事業者がいかにしっかりとした経営計画を作ることが重要だと考えていますので、付加価値を生み出せるような支援をすることで事業存続につながると思います。引き続きそういった支援を強化していきたいと思います。

和田部会長

ほか、いかがでしょうか。

和泉副部会長

資料7のP32に芸術文化の振興について記載がありますので、これを測る指標が必要な

のではないかとお思います。

事務局

指標につきましては、本日いただいたご意見を踏まえて担当部署と検討を進めたいと思います。

和田部会長

会議の終了時刻が近づいてきたので、ここで本日の議事全体を通じて何かご意見等あればお願いします。

吉田委員

基本目標5について、事業所の経営課題として、人材育成・人材確保がありますが、この課題について雇用面の取組が中心になっているので、事業者に向けてはどのような支援を盛り込む予定なのでしょう。

事務局

人材育成・確保は重要な課題と認識しています。各種セミナーを通じて対応しているところですが、人材確保と並行して事業所のブランド価値を高める必要があると思いますので、両輪で支援を検討したいと思います。

和田部会長

ありがとうございます。事務局におかれましては、後期戦略を作成するにあたって、本日、委員の方々から頂いた意見を参考にさせていただけたらと思います。

以上をもちまして、議事はすべて終了いたしましたので、事務局に議事進行をお返しします。

事務局

皆様ありがとうございました。

皆様のご見識に基づき、活発にご意見交換いただき、感謝申し上げます。

本日の内容を踏まえ、今後の本市における地方創生・総合戦略の推進に活かしてまいります。

次回の総合戦略部会は12月の開催を予定しております。

後期戦略(案)については、本日のご意見・ご提案を踏まえて事務局にて見直しを行い、次回の総合戦略部会にて見直し後の素案についてご議論いただき、パブリックコメントを経て後期戦略策定となる予定です。

なお、本日いただきましたご意見・ご提案につきましては、分野も多岐にわたり、財政的

な制約等もあることから、行政の計画としてどこまで反映させるかにつきまして、内部でしっかりと検討してまいります。

それでは、閉会にあたりまして、政策企画部長 山原よりご挨拶申し上げます。

山原政策企画部長

閉会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、八尾市総合計画審議会 第3回総合戦略部会にご出席いただき、また長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございます。

本日は、令和5年度の交付金事業の効果検証、総合戦略の令和5年度実績の効果検証、後期戦略（案）について、さまざまなご意見、ご提案をいただいたところです。

本日の新聞では、令和6月1月1日現在の日本の総人口は、外国人を含んでも1年間で53万人、日本人に限定すると86万人減少しているという記事がありました。市町村レベルでの人口減少対策となると非常に難しいですが、総合戦略に掲げる基本目標の達成に向けて取り組んでいるところです。

今後も短期的には市外から転入してもらえるようなまちづくりを、長期的には出生数の増加をめざしてさまざまな取組を進めてまいりたいと考えています。

本日いただきましたご意見等を踏まえまして、後期戦略の修正を行い、12月に開催予定の審議会にて見直し後の後期戦略（案）をお示しして、ご議論いただきたいと考えております。

委員の皆様方におかれましては、引き続き本市市政へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。お礼のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

事務局

それでは、以上をもちまして、八尾市総合計画審議会 第3回総合戦略部会を閉会いたします。本日はありがとうございました。